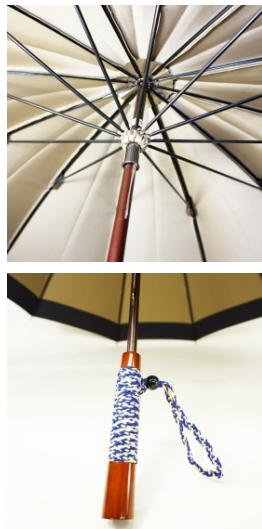


Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

日本の職人が手作りする、オリジナルの組紐傘



甲州織 檜棒手開き長傘 組紐手元

傘の産地でもある大阪阿倍野で1966年に創業した丸安洋傘（南国屋）は、100以上ある傘製作の工程を自社で一貫して手作りしています。山梨県で織られる高密度生地と、大阪の職人が作り出す組紐を組み合わせたオリジナル傘は、しっかり掴めて安定した持ち心地。裏表で色が反転する生地の照りも美しく、職人が細部までこだわって製作しています。男女問わずお使いいただける製品です。

価格：各45,360円（税込）

製造：南国屋／丸安洋傘(株)

素材：生地／ポリエステル100%、骨／鉄、
シャフト／檜 持ち手／桜

サイズ：60cm×12本骨 全長：89cm

monova gallery 展示会案内

<現在開催中の展示会> 「輪島キリモトのテーブル展」10/11（火）まで



10月13日(木)～10月25日(火)

天女の羽衣スカーフ展

天女の羽衣スカーフ コレクション！2016年秋冬の新作をお届けします。クラシカルな印象の3本のシルクボーターデザインは、新たなイメージを開拓しています。



10月27日(木)～11月22日(火)

丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術展

ホテルマン・ドライバー・バーテンダーなど、多くのプロフェッショナルが愛用する丸和繊維の「動体裁断」のシャツ。メイド・イン・ジャパンの繊細な技術が宿る製品をご紹介します。



<お問合せ> Japan creation space monova 担当：川田

tel：03-6279-0688 mail：info@monova-web.jp WEB：<http://www.monova-web.jp>

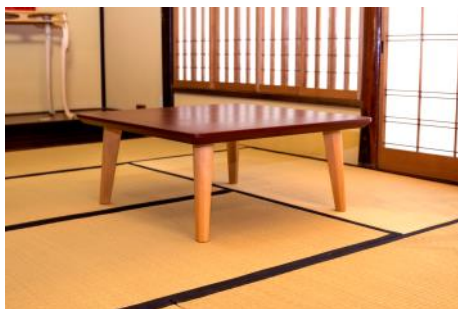
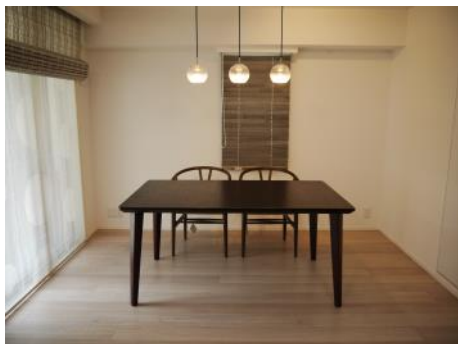
monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

monova 主催

「輪島キリモトのテーブル展」を開催！

2016年9月15日（木）～2016年10月11日（火）

100年先まで使えると言われるほど堅牢な輪島塗。地元では、建具や床壁の建築材としても使われる身近な存在です。今回は、堅牢かつテクスチャーが美しい輪島キリモトのテーブルをご紹介します。



用途に合わせてオーダーできる

暮らしの中にある木とうるし

漆の里である輪島市は、古くから建築材としても漆が使われ、人々と漆が身近なものとして触れ合って生活をしてきました。今でも天井、柱、階段、床などに拭き漆が施されている家が多数存在します。輪島キリモトでは、このように培われた「漆文化」を活用し、日常生活にうるしを取り入れ、現代の暮らしに合った木とうるしの家具の提案を行っています。また、輪島キリモトでは、従来の輪島塗に留まらず、麻布と漆、和紙と漆、珪藻土と漆など、異なる天然素材と漆を組み合わせ、豊かな表現や傷が付きにくい堅牢な仕上げを独自に開発しました。その手触りは優しく、奥行きのある表情が特徴となっています。職人の最高の技術と木と漆の可能性を追求した逸品をご紹介します。

【展示内容】

Module Table Series(モジュールテーブルシリーズ)

用途に合わせて、セミオーダーができる「Module Table Series」です。

天板は、輪島キリモト独自の「漆布みせ仕上げ」となっており、傷が付きにくく、布目の模様が美しく、表情豊かな仕上げです。天板と脚の組み合わせによって、お好みのテーブルへと変わるラインナップになっています。

◆輪島キリモト 紹介◆

輪島の漆器の産地にて江戸後期から200年以上にわたり木や漆器の仕事に携わってきた桐本家。昭和の初めに朴木地屋として「桐本木工所」を創業。3代目の桐本泰一氏はデザインを学び、木地業の修業を経て、木地業からのデザイン、造形提案など漆器の監修を始める。現代の生活に溶け込む日用品としての漆をテーマに、創作工房「輪島キリモト」を設立。木と漆の持つ可能性に挑戦し続けている。

<http://www.kirimoto.net/>

－開催概要－ 輪島キリモトのテーブル展

会 期：2016年9月15日（木）～10月11日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：Japan creation space monova

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

天池合織株式会社 主催
「天女の羽衣スカーフ展」を開催！
 2016年10月13日（木）～2016年10月25日（火）

天女の羽衣スカーフ コレクション！2016年秋冬の新作をお届けします。
 クラシカルな印象の3本のシルクボーダーデザインは、新たなイメージを開拓しています。

天女の羽衣®
 Amaike Super Organza

秋の装いのワンポイントに

シルクとプリントが注み出すクラシック&レトロな世界

今年の秋冬のトレンドであるクラシック&レトロを取り入れた新作をご紹介します。20万点余りのプリントデザインを現代に合わせてアレンジしたオールドコレクションシリーズやシルクの光沢が美しい上品なボーダースカーフなど、秋冬に活躍する上品でカラフルなスカーフをご紹介します。

天女の羽衣は、毛髪の約1/5～1/6程の極細ポリエステル糸で織り上げた世界最軽量級の素材です。保温性にも優れ、薄くて軽いので持ち運びに便利。秋のお出かけや、ギフトにもおすすめです。

【展示内容】

1)カラーブロック(写真左)

カラフルで動きのあるプリント柄が秋冬の落ち着いたコーディネートアクセントに。転写紙プリント採用で鮮やかな発色が特徴。色あせもほとんどありません。

2)シルク混3ブロックボーダー(写真右)

両裾、中央に配置した3本のシルクのボーダーがシャープで上品な印象に。クラシックかつエキゾチックな雰囲気も楽しめます。

◆天池合織株式会社◆

合織の産地として有名な北陸、石川県七尾市に1956年創業。インテリア、スポーツ、産業資材など、各分野で高付加価値織物の糸加工から製織工程まで自社一貫で製造開発している。2006年より世界一軽く薄い「天女の羽衣®」をヨーロッパ有名メゾンへの直接輸出を始める。2009年からは自社製品天女の羽衣スカーフを展開。2010年にはパリオペラ座の舞台衣装に起用される。「技術開発型」メーカーの基盤を確立し、自社ブランド化を目指す。

2013年 第5回「ものづくり大賞」経済産業大臣賞受賞

2014年 グッドデザイン・ベスト100、特別賞「未来づくりデザイン賞」受賞。

2015年 ドイツICONIC AWARDS 2016 Best of Best, Winner受賞。The Wonder 500(経済産業省補助事業)商品として認定。

2016年 OMOTENASHI SELECTION 2016 受賞。

—開催概要— 天女の羽衣スカーフ展

会 期：2016年10月13日（木）～10月25日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：天池合織株式会社

丸和繊維工業株式会社 主催
「丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術 展」を開催！
 2016年10月27日（木）～2016年11月22日（火）

ホテルマン・ドライバー・バーテンダーなど、多くのプロフェッショナルが愛用する丸和繊維の「動体裁断」のシャツ。
 メイド・イン・ジャパンの繊細な技術が宿る製品をご紹介します。



INDUSTYLE
TOKYO

動体裁断 動体縫製®



創業60年、丸和繊維工業が追及した
究極の着心地とおもてなしの心

宇宙飛行士の船内被服として採用された実績を持つ、東京墨田区にある丸和繊維工業株式会社。まるでシャツが身体に寄り添ってくるかのような着心地のシャツは、立体裁断にあらかじめ動きの要素を入れた「動体裁断」技術により、いままで感じたことのない着心地から発売以来ファンを増やし続けています。そして今回は丸和繊維の新ブランド、結ばない風呂敷「おつつみ」もご紹介します。また、「つつむ」ための「おつつみ」だけではなく、そのバリエーションに富んだプリント生地と動体裁断を用いたレディース用のフィット感抜群のパンツとのコラボレーションもご覧いただけます。

【展示内容】

1) 動体裁断レディースパンツ×おつつみ

1枚の型紙でつくられる超立体型のパンツは動いた時にスムーズに体にフィットし、形の崩れない美しいシルエットを生み出します。機能性に優れたパンツをロールアップするとオリジナルテキスタイルが覗く粋なデザインです。

2)【INDUSTYLE TOKYO】動体裁断ニットシャツ

人間の皮膚を研究し開発された、ノンストレスな着心地のニットドレスシャツ。腕を上げても裾が上がらず着くずれしません。

3) OTUTUMI(おつつみ)

「おつつみ」は2016年に特許を取得した、おもてなしの心を布で表現する新しい布ラッピングです。現代のクリエイターが作り出す豊かなデザインの“現”(ututu)や日本の古典的な匠を現代的に解釈し“粋”を表現した“大江戸”の展開でバリエーション豊かに日本の心「おもてなし」を表現します。

◆丸和繊維工業株式会社 紹介◆

1956年に肌着メーカーとして創業。現在はニット製品の内、主に紳士・婦人・スポーツ・ゴルフウェアの製造販売を行う。2010年宇宙飛行士の山崎直子氏の船内被服に採用される。INDUSTYLE TOKYOが日本独自の精神である“おもてなし”の心から生まれた魅力ある商品・サービスを世界へ発信するプロジェクト「おもてなしセレクション」や全国百貨店の目利きのバイヤーが選ぶ「話題賞」に選定される。

<http://www.maruwa-tex-ind.co.jp>

－開催概要－ 丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術 展

会 期：2016年10月27日（木）～11月22日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：丸和繊維工業株式会社

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

株式会社五十崎社中 主催
「IKAZAKI WALLPAPER展」を開催！
2016年11月23日（水）～2016年12月6日（火）

若き企業家が海外の金箔技術者とタッグを組み生まれた和紙製品。
古くからある和のデザインを、現代的な壁紙にリデザインした新作をご紹介します。

GILDING WASHI WALLPAPER

ギルディング和紙壁紙新作発表

四国・愛媛県内子町五十崎（いかざき）地区は樹齢250年を超える榎（えのき）が守る小田川の清らかな水と、周囲の山々から吹き下ろす風の気配に満ちた土地です。美しい水から作られる手漉き和紙は、土地の人々の暮らしに根差し、大切に守り育てられた伝統産業です。五十崎社中は職人たちが一枚一枚手作りで仕上げた和紙と、フランスの金箔技法ギルディングとの融合商品等、新たな和紙のある生活＞を提案しています。

今回は、国内外で活躍するデザインオフィスcosmos社代表・アートディレクター内田喜基氏の斬新なデザインと五十崎社中がもつオンリーワン技法・ギルディング和紙を使った新たな壁紙『GILDING WASHI WALLPAPER』をご紹介します。

【展示内容】

ギルディング和紙壁紙『GILDING WASHI WALLPAPER』、和紙雑貨など

【内田喜基氏プロフィール】

1974年静岡生まれ。博報堂クリエイティブ・ヴォックスに3年間フリーとして在籍後、2004年cosmos設立。広告クリエイティブや商品パッケージ、地場産業のブランディングにとどまらず、ライフワーク「Kanamono Art」では インスタレーション・個展を開催。受賞歴：D&AD 銀賞 / 銅賞、Pentawards 銀賞 / 銅賞、OneShowDesign 銅賞、London international awards銅賞、Red dot design award、NYADC賞など。

◆株式会社五十崎社中 紹介◆

2008年 代表・齋藤宏之が愛媛にて1ターン起業。天神産紙・内子町商工会協力のもとJAPAN BRAND登録事業者としてフランスのギルディング（金箔）技術者がボー・ウルヴィツキ氏から技術習得、商品開発を開始する。

2009年、2010年、2014年 パリ メゾン&オブジェ出展、東京ギフトショー初出展

2011年 上海 華東交易会出展、インテリアライフスタイル展初出展

2012年 ロンドンDECOREX出展 with BIDEN DESIGN

2015年 ミラノ国際博覧会クールジャパンデザインギャラリー出展（nendo佐藤オオキ氏デザイン和紙皿）、ミラノサローネ出展、愛媛県ジュネーブ商談会参加、クールジャパン官民連携プラットフォーム推進委員に選定

2016年 フランクフルト アンビエンテ DENSANブース出展

－開催概要－ IKAZAKI WALLPAPER展

会 期：2016年11月23日（水）～12月6日（火）※11月23日（水）祝日営業
10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：株式会社五十崎社中

